



2024年2月6日
東日本旅客鉄道株式会社

シンガポールを拠点とする コーポレートベンチャーキャピタルを設立します

～海外スタートアップとの協業により JR 東日本グループの事業シナジーを創造します～

- JR 東日本は、スタートアップの成長とビジネス環境の整備が進む、主として東南アジア地域を中心に活動するスタートアップへの出資と JR 東日本グループとの協業推進を行うコーポレートベンチャーキャピタル「JRE Ventures Pte. Ltd.」をシンガポールに設立します。
- お客さまの暮らしをより豊かにしていく「生活ソリューション」の事業領域に関する革新的な技術やビジネスモデルを有するスタートアップを対象に、50 億円の出資枠を設けます。
- リテールテック領域などの海外スタートアップと共創することで JR 東日本グループの事業シナジーを創造し、駅からお客さまや沿線のみなさまの暮らしとつながり心豊かな生活を実現する「Beyond Stations 構想」を加速させ、駅の持つ可能性をさらに広げて、リアルとデジタルが融合する JR 東日本グループの新たな顧客体験価値を創造します。

1. コーポレートベンチャーキャピタル設立の目的

情報の集積とビジネスのハブ化が進むシンガポールを拠点に、新たに「JRE Ventures Pte. Ltd.」を設立します。スタートアップの成長とビジネス環境の整備が進む、主として東南アジア地域を中心に活動するスタートアップとの協業を通じて新たな事業シナジーを創造し、JR 東日本グループの重要な経営資源である駅の価値をさらに高め、お客さまにより便利で豊かな顧客体験価値を創造していきます。

「TAKANAWA GATEWAY CITY」をはじめとする JR 東日本の多様なフィールドにおける共創の場を活かすとともに、JR 東日本が展開するコワーキングスペース「One&Co」や、連携協力の覚書を締結したシンガポール国立大学とそのインキュベーション施設「BLOCK71※」などが有するスタートアップのネットワークに参画し、タイムリーかつスピーディーに出資を行っています。これらの取り組みを通じ、日本とシンガポール両国におけるスタートアップエコシステムの拡大に貢献していきます。

海外スタートアップ

JRE Ventures

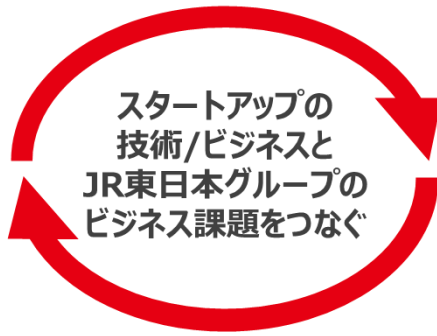
JR東日本グループ

シンガポールを中心としたネットワーク



One&Co
Coworking Space by JR-EAST

NUS
National University of Singapore



スタートアップの
技術/ビジネスと
JR東日本グループの
ビジネス課題をつなぐ

国内ビジネス



<イマーシブなメディア空間>

<はこびユ>

<TOUCH TO GO>

スタートアップのニーズ

- ・ 事業の拡張可能性
- ・ 資金調達
- ・ 協業パートナー探索

CVC設立の目的

- ・ 事業シナジー/戦略リターンの創造
- ・ キャッシュフローの拡大
- ・ JR東日本グループの成長

さらなる価値創造に向けた課題

- ・ リアルとデジタルの融合
- ・ One to One コミュニケーション
- ・ 物流のイノベーション

※シンガポール国内最大のインキュベーション施設であり、シンガポール国内外のスタートアップ企業や多様な人材が集まるスタートアップ集積拠点

2. 想定する投資領域と事業シナジーのイメージ

主に駅における「生活ソリューション」のサービスでの共創を目指します。まずは JR 東日本グループの事業とのシナジーが期待できる「広告」「リテール/EC」「物流」の事業領域に対応する「アドテック」「リテールテック」「ロジスティック」の領域で技術やビジネスを有するスタートアップに注目していきます。今後、マーケットの変化などを踏まえて、柔軟に事業領域の範囲を拡大していきます。

(1) 広告やリテール領域におけるリアルとデジタルの融合（アドテック・リテールテック）

生成 AI や XR、ネットワーク技術の活用により交通広告など、リアルな屋外メディアの価値を高めてお客さまと One to One でつながるきっかけへと変革するとともに、実店舗や JRE MALL などの EC サイト、JRE POINT やモバイル Suica などのチャネルとそこで集積されるデータを統合活用し、リアルとデジタルをシームレスにつなぎます。お客さま一人ひとりのニーズに徹底的に寄り添い、新しい情報やサービスとの偶発的な出会いも生むような、JR 東日本グループならではのより豊かな購買体験の提供を目指します。

(2) 物流のイノベーション（ロジスティック）

人手不足の状況下、複数荷主の荷物の高効率な混載や最適な配送ルートを実験・検証する技術、倉庫自動化技術、ラストワンマイルの物流技術などにより、物流のイノベーションを目指します。

こうした共創を通じ、駅のあり方を変革する「Beyond Stations 構想」を推進することで、お客さまや沿線のみならず暮らしをさらに便利で豊かにしていくことを目指します。

“これからの駅の姿”

たとえば、移動の合間の時間で、働く場や学びの場にチェックインできるように。
たとえば、スマホ一つで、地域・地方の名産をいつでも受け取れるように。
たとえば、新しいモノ・コトと出会い、実際に体験・購入ができるように。



2021年3月3日「JR 東日本『Beyond Stations 構想』の推進について」より引用。赤枠は事業シナジー創出が期待できるサービスイメージ。

3. 投資対象と規模

JR 東日本グループの事業変革と成長戦略を加速させる技術やビジネスモデルを有するスタートアップを対象に、およそ5年間で1件当たり数千万円から数億円程度の出資を行います。

4. 会社概要

会社名	JRE Ventures Pte. Ltd. ※登記予約済 (ジェイアールイー ベンチャーズ)
事業国	シンガポール
株主	東日本旅客鉄道株式会社 (100%)
設立	2024年2月下旬 (予定)
出資枠	約50億円 (4,545万シンガポールドル)
事業内容	スタートアップなどへの出資、支援および協業推進
問合せ先	jreventures@jreast.co.jp

<会社ロゴ>



【参考】

● One&Co Singapore / One&Co Taipei

コワーキングスペース「One&Co」は、2019年8月にシンガポール、2022年9月に台湾（台北）にオープンしました。“Platform for Innovative Business”をコンセプトに、スタートアップのマッチング機会や利用者間のコミュニティ形成を促し、ビジネスとイノベーションを創発する場となることを目指します。



<One&Co Singapore>

● シンガポール国立大学との連携協力の覚書締結

2023年9月、JR 東日本とシンガポール国立大学との間で日本とシンガポールを中心とした東南アジア地域におけるスタートアップエコシステムの構築に向け、覚書を締結しています。「TAKANAWA GATEWAY CITY」を拠点として相互に有益なパートナーシップと新たな国際交流の場を築くとともに、JR 東日本の多様なフィールドを活用し、スタートアップの技術や様々な課題解決に向けた実証実験の機会を創出します。



<覚書締結式の様子>

※掲載画像は全てイメージです。